

# ANECHOIC ROOM ANECHOIC BOX

無響室および無響箱などを用いたシステム紹介



音圧レベル測定システム



残響室法吸音率・音響透過損失測定システム



半無響室法音響パワーレベルの測定システム

# リオンは音を計測する機器と音を計測する環境を併せて

自動車や家電製品の部品などは静音化が求められ、部品の品質や性能を確認するための環境。特に部品などから発生する音を計測する場合は、周囲の音に影響されることなく計測する必要。こちらでは無響室などのご紹介と、それらを使用した測定システムをご紹介します。

## 無響室などの使用事例紹介

### 音圧レベル測定システム

自動車部品(インパネ・内装材)や、家電製品(小型モータや電子部品)は、小型の無響箱や組立式防音室、無響室を使用して、音圧レベルを測定し評価することができます。周囲に音がある場合でも、影響なく測定が可能です。小型無響箱は可搬式のため置き場所を選ばず、作業スペースの手元に置いて測定ができます。組立式防音室、無響室は、既存の建屋内に設置できるため、作業スペース内などに容易に設置が可能です。ユーザー様の仕様に合わせてカスタマイズでき、生産ライン上の設置にも対応します。

#### 対象部品例

- ビデオカメラのモータやレンズの機構試験
- スマートフォンのマイク部評価
- 自動車シートレバーの音質評価
- ハンドル(パワステ)の負荷試験
- 電動シートやミラー、シートベルトの防音対策



無響箱(自動測定例)

## 無響室などを使用した測定システムの紹介

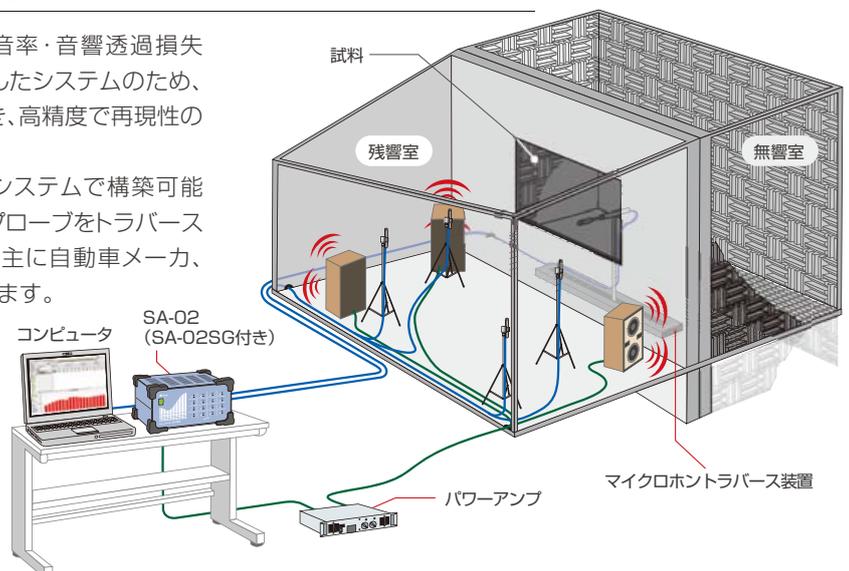
### 残響室法吸音率・音響透過損失測定システム

本システムは、小さいサイズのサンプルで残響室法吸音率・音響透過損失を測定することができます。実験室と測定機器を一体としたシステムのため、測定機器と合わせて調整を行うことにより性能保証ができ、高精度で再現性の高い測定結果が得られます。

吸音率のみを測定したい場合は、残響室と測定機器のシステムで構築可能です。音響透過損失の測定は、無響室側のマイクロホンプローブをトラバースにより自動制御で移動させ、測定することができます。主に自動車メーカ、自動車内装材サプライヤ、繊維メーカなどが導入しています。

#### 適合規格

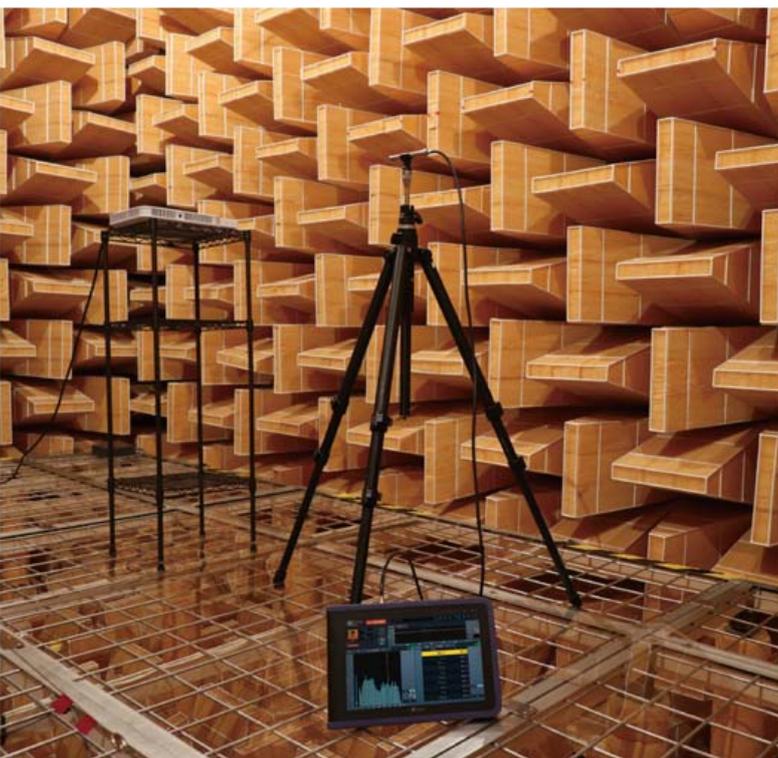
JIS A 1441 -1  
音響-音響インテンシティ法による建築物及び建築部材の空気音遮断性能の測定方法-第1部:実験室における測定  
JIS A 1441 -2  
音響-音響インテンシティ法による建築物及び建築部材の空気音遮断性能の測定方法-第2部:現場における測定  
JIS A 1409  
残響室法吸音率の測定方法



ご紹介できます。

が必要となります。

が有ります。



組立式防音室・無響室（測定例）

## 半無響室法音響パワーレベルの測定システム

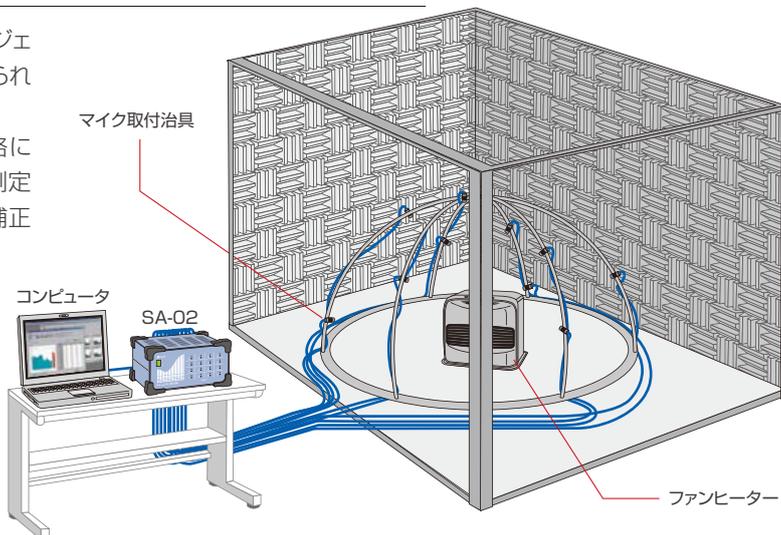
家電製品（エアコンなど）や事務用品（プリンタやプロジェクタなど）の、音響パワーレベル測定方法は規格で定められています。

半無響室における音響パワーレベル測定方法の規格に準じ、仮想測定面上（半球面、直方体面）に配置された測定点の音圧レベルを測定し、音源の音圧レベルの暗騒音補正を行い、音響パワーレベルを求めることができます。

### 適合規格

JIS Z 8732  
音響－音圧法による騒音源の音響パワーレベルの測定方法－無響室及び半無響室における精密測定方法

JIS Z 8733  
音響－音圧法による騒音源の音響パワーレベルの測定方法－反射面上の準自由音場における実用測定方法



大まかな内容をヒアリングさせていただき、ご要望を確認いたします。

### お見積り作成の情報

お打ち合わせ・現地調査	
対象物	
対象物の大きさ	
測定したい音圧レベルの範囲	
測定したい周波数範囲	
使用用途	
設置場所	
対応する規格	



### お見積りの作成

システム内容が確定した段階でお見積りを作成いたします。



<https://svmeas.rion.co.jp/>



当社は、認定基準としてISO/IEC 17025を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋認定協力機構 (APAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社の品質保証課は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0197は品質保証課の認定番号です。

ISO14001 本社・東海営業所  
西日本営業所 認証取得  
ISO9001 本社・東海営業所  
西日本営業所・九州リオン・  
リオン・ビジネスセンター 認証取得



\*本カタログ掲載の各製品のデザイン・仕様などは予告なく変更する場合があります。

**技術相談受付** ☎ **0120-26-1566** フリーダイヤル 当社の休日および土・日・祝日を除く  
9:00~12:00 / 13:00~17:00

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 本社・営業部             | 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3丁目20番41号<br>TEL.042-359-7887 FAX.042-359-7458             |
| 西日本営業所             | 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番5号 横山ビル<br>TEL.06-6346-3671 FAX.06-6346-3673             |
| 東海営業所              | 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目3番23号 和波ビル<br>TEL.052-232-0470 FAX.052-232-0458          |
| 九州リオン(株)           | 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5番18号<br>TEL.092-281-5366 FAX.092-291-2847                  |
| 上海理音科技<br>有限公司     | 郵編200233 中国上海市徐匯区宜山路900号 科技産業化大樓 C区501室<br>TEL.021-5423-5082 FAX.021-5423-5266 |
| リオンサービス<br>センター(株) | 〒192-0918 東京都八王子市兵衛2丁目22番2号<br>TEL.042-632-1160 FAX.042-632-1140               |